



新しく5名の認定看護師が加わりました(平成25年7月)



理念

「皆様の信頼と満足」
それを極めることが私たちの使命です。

目次

CONTENTS

- 1** **けんこう・いりょう** >> P02
○麻酔科のご案内
- 2** **けんこう・いりょう** >> P03
○セミナーと研修の紹介
- 3** **「こうじゅん会」からのお知らせ・ニュース** >> P04
○名古屋市立大学学生による結核の啓蒙活動
○患者図書室「いきいきの森」推薦図書
- 4** **「こうじゅん会」からのお知らせ・ニュース** >> P05
○職員情報
○講演会・研究会報告
○イベント案内・報告
- 5** **「こうじゅん会」からのお知らせ・ニュース** >> P06
○「医療安全推進運動」について
○インフルエンザ予防接種について
○建替え工事のご案内
- 6** **あなたの町の「かかりつけ医」** >> P07
○大清水クリニック
○名古屋市医師会病診連携システム運営協議会について

○患者満足度調査の結果について >> P08

10月の特集

PICK UP

認定看護師を紹介します

認定看護師とは、特定の看護分野において熟練した看護技術と知識を持つと日本看護協会が認定した看護師のことです。



脳卒中リハビリテーション看護

脳卒中で障害を受けた患者様に関すること、麻痺を良くするリハビリや寝たきりを防ぐ運動などを入院生活に取り入れた看護を行っていきます。

皮膚・排泄ケア

主に傷の治り方やストマ装着の専門知識をもって患者様に関わっていきます。今後、ストマ外来の立ち上げ・スキンケアラウンドを行っていきます。

小児救急看護

救命だけではなく虐待防止や事故防止、育児支援など、子どもと家族全てに関わって、子どもの健全な育成を見守っていきます。

がん性疼痛看護

がんを患う患者様が悩まされる痛みについて、薬剤の作用等の専門知識を持ち、院内の多職種と緩和ケアチームを組み、苦痛の緩和を行っていきます。

看護部ではスタッフのより一層の知識・技術向上を目指していきます。

診療科案内 麻酔科のご案内

常勤医9名で年間約1300例の手術に対し24時間365日“断らない麻酔”をモットーに緊急手術体制の中で麻酔業務を行っています。また、ペインクリニック外来では様々な神経ブロックとともに光線療法も併せ患者様の状態に応じて診療を行っています。

さらに救急救命士のための気管挿管実地研修の施設として、地域の消防署からの研修を受け入れ、地域の救急医療の向上に尽力しています。

みやげ らいむ
三宅 来夢医師
【認定資格】
日本麻酔科学会認定
麻酔認定医・麻酔標榜医
【専門領域】
臨床麻酔全般・老年麻酔

やました かずゆき
山下 和之医師
【専門領域】
臨床麻酔全般・ペインクリニック

かんだ がくし
神田 学志医師
【認定資格】
日本麻酔科学会認定
麻酔認定医・麻酔標榜医
【専門領域】
臨床麻酔全般・老年麻酔

さかい ゆういち
酒井 裕一医師
【専門領域】
臨床麻酔全般

ながさき ひろのり
長崎 宏則医師
【認定資格】
日本麻酔科学会認定
麻酔認定医・麻酔標榜医
【専門領域】
臨床麻酔全般・老年麻酔
ペインクリニック・海外僻地医療



つじむら ちさ
辻村 千紗医師
【専門領域】
臨床麻酔全般

すずき たかお
鱸 岳夫医長
【認定資格】
日本麻酔科学会認定
麻酔認定医・麻酔標榜医
【専門領域】
臨床麻酔全般・ペインクリニック
海外僻地医療

おのうえ こういち
尾上 公一部長
【認定資格】
日本麻酔科学会認定
麻酔指導医・麻酔標榜医
ICD制度協議会認定 ICD
【専門領域】
臨床麻酔全般・手術室環境
海外僻地医療

なかしま まゆき
中島 真幸医師
【認定資格】
日本耳鼻咽喉科学会認定
耳鼻咽喉科専門医
ICD制度協議会認定 ICD
【専門領域】
臨床麻酔全般・頭頸部麻酔

手術への不安の解消と手術後の痛みの軽減

どんな短い手術でも患者様にとっては怖いもの。さらに手術後の痛みを考えると恐怖心がますます増してしまいます。

そこで麻酔科では患者様の全身状態を把握したうえで最適な麻酔方法を提案し、手術を受ける患者様に対して手術前までに説明書類に沿って麻酔の手順をお話しています。もちろん、不安な事などの質問にもお答えし、患者様にはできる限り安心して手術を受けていただけるように努めています。

さらに手術後の痛み対策として背中からチューブを入れて持続的に痛み止めを流す硬膜外麻酔や神経ブロックを行い患者様の苦痛を和らげています。

痛みの治療

麻酔科では平日の午前中にペインクリニック外来を行っています。

腰痛、帯状疱疹後神経痛や五十肩のほか、顔面神経麻痺、突発性難聴などの痛みを伴わない病気も当科の対象になります。

患者様に直接注射をする神経ブロック療法や局所の血流を高めるキセノン照射、半導体レーザーのほか、痛み止めの内服薬・外用薬を併用して患者様と共に痛みの軽減に努めています。

神経ブロックには超音波診断装置を使い、安全で確実な手技を目指しています。

セミナーと研修の紹介

実戦スキル習得セミナーin大同病院が行われました。

平成25年7月21日(日)大同病院内視鏡センター他にて、名古屋大学医学部附属病院卒後臨床研修・キャリア形成支援センター主催「実戦スキル習得セミナー in大同病院」が開催されました。

37名(医学生25名、研修医5名、看護学生7名)の皆様が実際の医療機器を使い手技等を学びました。参加された皆様からは、「楽しかった」「知識が深まり勉強になった」「様々な手技が体験でき刺激になった」など、好評を得ました。

採血手技



骨髄穿刺



腸管・血管吻合



腹部エコー



高校生一日看護体験研修が行われました。

平成25年8月7日(水)大同病院において愛知県主催、高校生一日看護体験研修が行われました。この看護体験研修は毎年、看護師志望の高校生の皆様を対象に行われています。今年も22名の皆様に参加されました。研修では「看護の理念」「看護内容」を学び、看護師役と患者役に

分かれ車椅子とストレッチャーの使用方法を体験しました。

また、入院中の患者様への看護を体験しました。研修終了後のアンケートでは「今回の看護体験で看護師になりたいと強く思いました」と卒業後の進路を決定する上で大いに役立ったようです。





名古屋市立大学学生による結核の啓蒙活動

名古屋市立大学医学部／薬学部／看護学部3学部では1年生を対象に「医学系学部連携チームによる地域参加型学習」を行っています。当院にも毎年1チーム10名前後の学生が訪れています。彼らのレポートの一部をご紹介します。

【結核とは】

結核と聞くと過去の病気だという印象を持たれるかもしれません。事実、「国民病」とまで言われていた明治時代から昭和20年代までと比べると、罹患者の人数も大きく減少しました。しかし、現在も結核患者は発生し、死に至る人もいる重大な感染症なのです。

結核は結核菌による感染症です。感染した人の1/10が発症します。治療方法が確立しているため、きちんと治療することで治癒が期待できます。

昨年度、名古屋市立大学1年生に対して結核の認知

度アンケートを施行しました。その結果、結核に対する知識不足が明らかになりました。

結核は高齢者だけでなく、若年者や働き盛りの人たちにも感染します。正しい知識を身に付けてもらうことは、自分も他人も守ることになります。僕たちは地域参加型学習の一環として、結核に対する正しい知識の啓蒙活動を行うことにしました。

今後の活動が楽しみです。

呼吸器内科 西尾



患者図書室「いきいきの森」推薦図書

閉塞性動脈硬化症に関する本

📖「閉塞性動脈硬化症の自己管理」

主に酸素や栄養を補給する為に循環している動脈の内腔が種々の原因で狭くなったり、詰まったりして、血液が流れにくくなった状態を「循環障害」と言います。

全身の動脈のなかでも手足(四肢)などへ血液を循環させているルートを「末梢動脈」と呼んでいます。その末梢動脈での循環障害を来す代表的な病気として、「閉塞性動脈硬化症(ASO)」があります。

ASOの原因である動脈硬化は「生活習慣病」と総称される高血圧・糖尿病・高脂血症・喫煙などによって生じる異常や病態です。

本書ではASOという末梢動脈の循環障害の病気を通して、動脈硬化、生活習慣病、さらに全身に生じる循環器の病気などについて、解説しています。

第1章 閉塞性動脈硬化症とは？

第2章 生活習慣病と関連する：生活習慣病があるときの注意点

第3章 全身の動脈硬化とも関連がある



写真やイラストを取り入れ、わかりやすく解説しています。

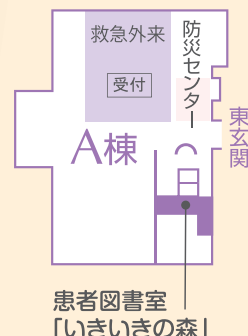
「いきいきの森」のご案内

ご利用時間

月～金 10:00～16:00
土 10:00～12:00
(日曜・祝日・年末年始はお休みです)

場所

A棟1階 東玄関横





宏潤会からのお知らせ・ニュース

「こうじゅん会」からのお知らせ・ニュース



年末年始外来診療について

平成25年12月29日(日)～平成26年1月3日(金)は年末年始のため外来診療を休診します。
※救急センターは通常通り24時間365日診察しています。

職員情報

新任医師のご紹介

10月1日就任



いけうち たかひと
池内 隆人 泌尿器科
【認定資格】
泌尿器科指導医・専門医

退任医師のご案内

8月31日退任

須田 裕一郎 小児科 9月より非常勤

講演会・研究会報告

7月11日(木)

オープンセミナー

テーマ

最新のCT診断

講師

放射線診断部部長
安野泰史先生



7月30日(火)

院内感染対策研修会

テーマ

大同病院における結核対策

講師

呼吸器内科 竹内章先生



8月8日(木)

オープンセミナー

テーマ

心疾患のデバイス治療

講師

中京病院循環器科部長
坪井直哉先生



イベント案内

★糖尿病教室

開催日時 平成25年11月14日(木)14:00～

開催場所 だいでうクリニック5階 講堂

★だいでうオーケストラクリスマスコンサート

開催日時 平成25年12月21日(土) 11:00～12:00

開催場所 だいでうクリニック1階ロビー

イベント報告

★小児糖尿病サマーキャンプ開催

平成25年8月16日から20日まで4泊5日の日程で四日市少年自然の家において「第40回東海地区小児糖尿病サマーキャンプ」が開催されました。今回は大同病院より34名のスタッフが参加して本部として企画運営をおこないました。キャンプには小学校3年生から中学校3年生までの1型糖尿病の子どもたちが参加して栄養やインシュリンについて学んだり、川遊びやキャンプファイヤーなどで楽しく過ごしました。子どもたちは仲間とともに大きく成長してキャンプを終えることができました。



★永年勤続表彰、理事長表彰

9月1日は、宏潤会の創立記念日でした。毎年この日に、「永年勤続者」「功労者」に理事長より表彰が行われています。本年度は、勤続20年の職員7名、10年の20名、業務改善を実行したチームが「特別

賞」と「優良賞」の表彰を受けました。来年の創立75周年にむけ、職員一同なお一層努力を継続していきます。

★女子バレーボール部対外試合参加

当院女子バレーボール部は、6月30日南区体育協会等主催バレーボール大会に参加しました。初戦は昨年度優勝された昭南クラブさんと対戦。初めは好調でしたが逆転で勝利ならず。3位決定戦ではフルセットの末、惜しくも勝利を掴むことができませんでした。負けてしまったけれど、普段なかなか顔を合わせない職員と交流を深め、バレーボールを楽しむことができました。



★だいでうオータムコンサート

10月5日(土)だいでうクリニックのエンターランスにおいて「だいでうオータムコンサート」が開催されました。1部は「クラウンG-nyo(じーによ)」によるジャグリング、2部は「アイリス・クラリネット・カルテット」による音楽コンサートでした。地域住民の方も参加され、楽しいひと時を過ごされました。



老健イベント

大同老人保健施設では、季節毎に行事を行っています。9月・10月の大きなイベントは、敬老会と運動会です。今年も敬老会が開催され、御長寿の発表がありました。現在当施設では、100歳以上の方が2名入所されています。最高齢の方は105歳です。その利用者様は毎日日記をつけており、とても元気に過ごされています。職員による演芸も披露され、利用者様にとっても喜ばれました。

今後の開催予定

運動会：10月23日 優勝目指して練習に励んでいます!!



「医療安全推進運動」について

「医療安全推進週間」11月24日(日)～11月30日(土)と、
当院の「医療安全推進運動」について

厚生労働省は、医療安全に対する医療関係者の意識向上、医療機関の組織的な取り組みの促進、そして国民の理解と認識を深める事を目的として、毎年11月25日(いい医療に向かってGO)を含む1週間を「医療安全推進週間」に定めています。

当院ではそれに先駆け、医療安全の基本である患者誤認防止の為、「患者様自身にフルネームで名乗って頂く」事に取り組み、患者様にも主体的参加をお願いしています。

今後も、より安全な医療を提供するため、患者様の協力の下、職員一丸となって努力していきます。



名札に「医療安全推進運動」のシールを貼り、患者様確認の強化を行っています。

医療安全管理室

インフルエンザ 予防接種について

今年もインフルエンザワクチン接種の時期が近くなってきました。

当予防接種センターでは10月21日(月)より接種を開始します。

インフルエンザウイルスの流行株は毎年少しずつ変わるため毎年接種が必要です。今年のワクチンにもAソ連型(2009年に大流行し新型インフルエンザと言っていた型)、A香港型、B型が入っています。

13歳未満の方は2回接種、13歳以上の方は1回接種です。2回接種のときは、3～4週間空けて接種してください。インフルエンザが流行する前(12月中旬)までに接種しましょう。

建替え工事のご案内

前号に引き続き、B棟建替え工事の進捗状況をお知らせします。新B棟建替え工事は来年夏竣工をめざし、順調に進んでおります。鉄骨組立が9月末に終了し、今後は外壁、内装・設備工事を進めていきます。

患者様ならびにご家族の皆様にはご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解ご協力を賜りますよう宜しくお願い致します。



(工事風景8月30日現在)



(工事風景10月3日現在)



あなたの町の「かかりつけ医」

あなたの町の「かかりつけ医」

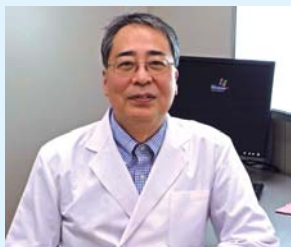


COMMUNITY MEDICINE COOPERATION

名古屋市緑区大清水西

内科、小児科、神経内科

大清水クリニック



データ

DATA

住 所 名古屋市緑区
大清水西201

電話番号 052-879-3388

院 長 柴田 真一
内科、小児科、神経内科



診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前 9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	×
午後 16:00~19:00	○	○	×	○	○	×	×

柴田 真一先生

Q1.患者様はどのような疾患の方が多くいますか？

神経内科を標榜しており、パーキンソン病、認知症、頭痛の患者様が多数受診されます。内科・小児科も標榜しており、高血圧、糖尿病、高脂血症のコントロールや、小児の一般診療、予防接種も行っております。

Q2.地域のかかりつけ医として、日頃どのようなことに気を配っていますか？

神経疾患は長期に医療、介護を必要とします。そのため、認知症サポート医の資格を取り、在宅医療にも力を入れています。クリニック近隣の介護施設の、理事や囁託医を引き受け、医学的な助言を行い相互理解を高める努力をしています。

Q3.診療において興味をもっている、今後力を入れていきたい分野は何ですか？

月に一度地域包括センター、介護事業者との相談会を開催し、個々の事例をもとに、介護保険、総合自立支援法、身体障害者認定、患者様の権利擁護などの活用を勉強しています。今後さらに安心の地域活動へと発展させたいと思います。

Q4.これを手にとってくださった患者様へ一言アピールをお願いします。

今年、最新型のGE製16列高速CTを導入しました。頭部なら、実質1秒、胸部でも8秒で撮影可能です。また、3D処理が簡単にできる性能があります。神経疾患でのさらなる精密診断に役立てたいと考えています。

名古屋市医師会病診連携システム
運営協議会が開催されました。



平成25年8月30日(金)名古屋市医師会病診連携システムの登録医師の交流が行われました。この会は、毎年夏の恒例行事となっており、地域医療機関の先生方と、患者様の健康を地域のなかでどうお守りしていくかについて話し合いました。

また、現在建設中の新B病棟の基本構想や救急医療の体制を報告し、大同病院のめざす将来像を知っていただきました。



国は限られた医療資源を有効に活用し、質の高い医療を実践するために、地域の医療機関に機能分化や専門性の向上、地域全体での連携体制を求めています。

大同病院は将来にわたって地域医療機関の先生方と共に良質な医療を提供できるよう、今後も努力してまいります。

患者様満足度調査の結果について

大同病院 および だいでうクリニックでは、患者様に快適なサービスが提供できるように、毎年、患者様満足度調査を実施しております。この調査結果により、多くのご意見や評価・満足度を把握し、その問題点を検討し、取り組み改善に努めております。今回の調査にご協力いただきました皆様には厚くお礼申し上げます。

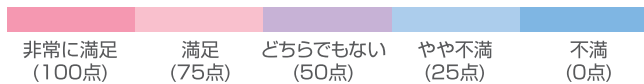
※今回の調査結果の詳細はホームページに掲載しておりますので、併せてご覧下さい。

大同病院 検索 <http://www.daidohp.or.jp>

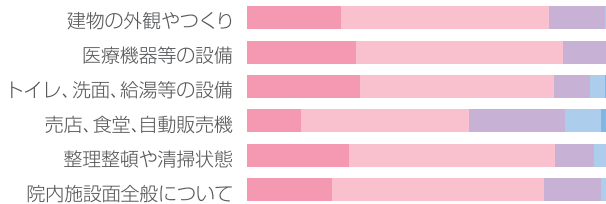
※なお今年度は2月から調査を開始する予定です。改めてご協力をよろしく申し上げます。

入院部門

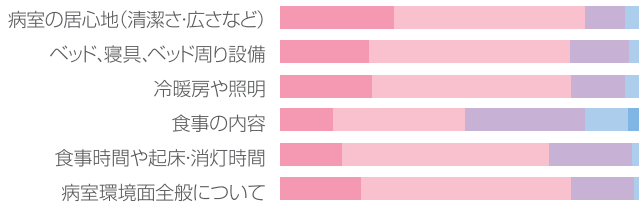
グラフの読み方



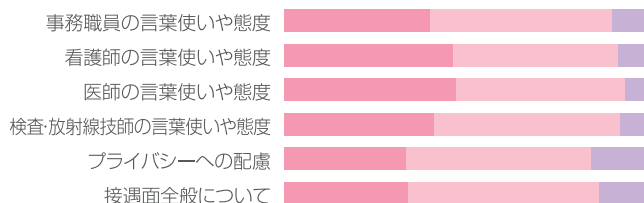
院内施設面



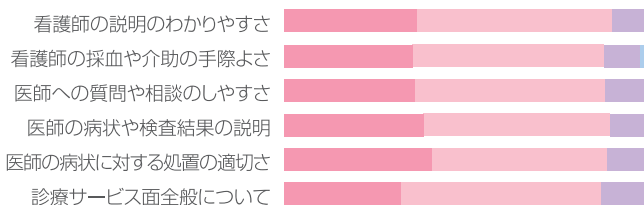
病室環境面



接 遇 面



診 察 面



大同病院

〒457-8511 名古屋市南区白水町9番地
TEL.052-611-6261 FAX.052-614-1036

診療科目

- ◆総合内科
- ◆血液・化学療法科
- ◆糖尿病内分泌内科
- ◆腫瘍内科
- ◆循環器内科
- ◆呼吸器内科
- ◆消化器内科
- ◆内視鏡内科
- ◆神経内科
- ◆腎臓内科
- ◆膠原病・リウマチ科
- ◆放射線科
- ◆外科
- ◆消化器外科
- ◆呼吸器・血管外科
- ◆乳腺外科
- ◆脳神経外科
- ◆整形外科
- ◆麻酔科
- ◆麻酔科 (ペインクリニック)
- ◆小児科
- ◆小児アレルギー科
- ◆産婦人科
- ◆泌尿器科
- ◆耳鼻咽喉科
- ◆眼科
- ◆皮膚科
- ◆歯科
- ◆リハビリテーション科
- ◆臨床検査科
- ◆病理診断科
- ◆救急センター



だいでうクリニック

だいでう 〒457-8511 名古屋市南区白水町8番地
クリニック TEL.052-611-6262 FAX.052-611-8625

診療科目

- ◆総合内科
- ◆血液・化学療法科
- ◆糖尿病内分泌内科
- ◆腫瘍内科
- ◆循環器内科
- ◆呼吸器内科
- ◆消化器内科
- ◆内視鏡内科
- ◆神経内科
- ◆腎臓内科
- ◆膠原病・リウマチ科
- ◆放射線科
- ◆精神科
- ◆外科
- ◆消化器外科
- ◆呼吸器・血管外科
- ◆乳腺外科
- ◆脳神経外科
- ◆整形外科
- ◆小児科
- ◆小児アレルギー科
- ◆内分泌小児科
- ◆呼吸器小児科
- ◆産婦人科
- ◆泌尿器科
- ◆耳鼻咽喉科
- ◆眼科
- ◆皮膚科
- ◆外来化学療法センター
- ◆健診センター
- ◆予防接種センター

専門外来

- ◆呼吸ケア外来 ◆禁煙外来 ◆睡眠時無呼吸症候群:SAS外来
- ◆小児専門外来(アレルギー、循環器、心理、心身、内分泌、肥満、栄養指導)

だいでうクリニック予約センター

TEL.052-611-6265

当日受診の予約受付 8:30~11:30

翌日以降受診の予約受付&変更 11:30~17:00(土曜日14:00まで)

地域医療連携室

TEL.052-611-1122 FAX.052-611-1021

宏潤会 施設および関連施設等

大同福祉会 〒457-8512 名古屋市南区白水町20番地
ゆうあいの里大同 TEL.052-612-3030 FAX.052-612-3076

中央クリニック 〒476-0015 東海市東海町5丁目3番地
TEL.052-603-7310 FAX.052-603-7087